

## 事例紹介

# 株式会社アクトワンヤマイチ 建設用軽仮設機材管理のための EPC/RFID活用

建設用軽仮設機材のレンタルを行うアクトワンヤマイチは、同社が扱う機材へRFIDを活用した個体管理システムを導入している。

背景として、大規模工事の増加に伴い業務効率化のニーズが高まっていた。また建設現場では、異なるレンタル事業者の同型機材が混在するシーンが多く、借入元と台数を把握したうえで返却・精算を円滑に行なうことが、現場とレンタル事業者の共通課題だった。

これを受け同社は、DXを推進。業務標準化やペーパレス化を段階的に進め、RFIDを活用した個体管理の運用体制を整備した。具体的には、自社が扱う主要機材にGS1識別コードである**GIAI**を書き込んだRFIDタグを取り付け、ハンディリーダで読み取ることで、各機材を効率的にシステム上で管理・運用している。

これにより、入出庫等の作業スピードおよび正確性の向上を実現。また、複雑な現場環境下においても確実に自社機材を把握できる体制を確立している。

RFIDによる個体管理システムで、  
機材の入出庫作業を効率化し、  
複雑な現場でも確実な機材管理  
を実現。作業スピードと正確性を  
高め、精緻な管理体制を確立。

## 株式会社アクトワンヤマイチ

建設用軽仮設機材のレンタル事業者。国内外に20拠点以上を構え、足場、台車、電設/養生系等、680種以上を同業他社へ供給・貸与（卸レンタル）している。

RFIDタグを活用した管理システムの導入により、機材管理の精度向上と現場オペレーションの効率化を実現。自社センターにおける運用で得た知見とノウハウをベースに、外部企業向けのRFID導入支援も実施している。



\* EPC (Electronic Product Code): RFIDタグにGS1識別コードを格納するための標準フォーマット。

\* GIAI (Global Individual Asset Identifier): GS1により標準化された、企業の資産を管理するための識別コード。レンタル・リース品等、個々を識別する必要のある資産の管理に利用する。

## 【導入効果】

アクトワンヤマイチでは、RFIDによる個体管理システムにより、以下の成果を上げている。

### ●作業時間の短縮

入出庫・検収時間を約20%削減。処理量は約1.5倍向上。

運送業者の荷待ち時間の短縮にも寄与。

### ●作業精度の向上

誤入庫ゼロ。誤出庫ゼロ（RFIDタグ取り付け対象品）。

品番違い・数量過不足を早期に検知し、正確な機材管理を実現。

システム導入に際しては、業務フローを大幅に変更することなく、現場負担を抑えた展開を行った。また、耐久性の高いRFIDタグを採用し、安定運用を維持している。

## 【今後の展望】

アクトワンヤマイチは、RFIDタグの取り付け対象品を順次拡大している。出庫準備済みや修理中といった在庫ステータスの把握にもRFIDの活用を検討中。

また同社は、自社での運用経験と知見を活かし、RFID導入を検討する同業他社向けの支援サービスも提供している。概念実証から導入、教育、保守に至るまで、実務者の視点で一気通貫のサポートを行うことで、建設業界全体の効率化とDX推進に貢献している。



## 【GS1標準利用のメリット】

アクトワンヤマイチは、自社保有機材の個体管理にGS1標準の識別コード「GIAI」を採用。これにより、社外パートナーもRFIDタグを共通のルールで読み取り・参照でき、相互運用性が確保される。

将来的に、自社発行分に加え、取引先や協力会社など他事業者が発行するRFIDタグが増えても、GS1標準に準拠していれば識別番号の重複や独自コードの乱立を防ぐことができる。その結果、サプライチェーンを通じて各機材の履歴が蓄積され、トレーサビリティが高まり、現場とデータが一層シームレスに連動するようになる。

## EPC/RFID入門講座のご案内

初心者向けにUHF帯RFID（電子タグ）の特徴や国内外の活用事例、GS1標準識別コードの活用について解説します。

詳細はこちらから

### プログラム

- RFIDとは
- RFID活用事例
- EPC/RFIDとは 等

